



2025年12月19日

各 位

会社名 株式会社 大光
代表者名 代表取締役社長執行役員 金森 武
(コード番号: 3160 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役常務執行役員
管理本部長兼総務部長 秋山大介
(TEL. 0584-89-7777)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2025年7月14日に公表いたしました2026年5月期の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2026年5月期第2四半期（中間期）連結業績予想数値の修正（2025年6月1日～2025年11月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益
前回発表予想(A)	38,580	190	195	115	7円83銭
今回修正予想(B)	37,871	△39	116	92	6円33銭
増減額(B-A)	△708	△229	△78	△22	
増減率(%)	△1.8	—	△40.0	△19.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2025年5月期第2四半期)	36,456	279	296	499	34円01銭

2. 2026年5月期通期連結業績予想数値の修正（2025年6月1日～2026年5月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	79,300	890	900	580	39円50銭
今回修正予想(B)	78,600	660	820	550	38円12銭
増減額(B-A)	△700	△230	△80	△30	
増減率(%)	△0.9	△25.8	△8.9	△5.2	
(ご参考)前期実績 (2025年5月期)	74,880	811	845	523	35円63銭

3. 修正の理由

2025年5月期第2四半期（中間期）において、水産品の卸売業を行う水産品事業の外部委託倉庫にて商品の破損事故が発生いたしました。これにより破損した商品1億61百万円については棚卸資産の減失処理をするとともに、外部委託倉庫と合意した補償金1億74百万円については営業外収益に受取補償金を計上する見込みとなりました。

また、水産品事業においては、2025年5月末に日中両政府が日本産水産物の対中輸出再開に向けた手続き開始に合意したことを踏まえ、当第2四半期間におよそ10億円の中国向け帆立貝の輸出売上を計画していましたが、11月中旬には一変して中国側が再び輸入停止を日本政府に通知することとなり、当第2四半期（中間期）においては計画通りに輸出販売が実現できませんでした。

2025年5月期第2四半期（中間期）の連結業績予想につきましては、上述した水産品事業における計画との乖離が主要因となり、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は前回発表予想を下回る見込みとなりました。

2026年5月期通期の連結業績予想につきましては、第2四半期（中間期）累計期間までの業績予想との乖離状況を勘案し、上記のとおり修正いたします。

※ 本資料に記載されている業績予想は、発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上